

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属:志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127



双方向の情報交流

議員定数削減の請願審査

町田市議会の議会改革調査特別委員会は、その一環として議員定数問題を議論しています。現在はそれの削減を求める住民請願も提出され、参考人も招いた形でも論議を重ねてきています。委員会での議員の論議動向では、定数を維持するとする側と削減を自主的に行うべきだとする側に分かれています。他方で、この請願では大幅な削減を求めています。町田市議会はこれまで定数削減に取り組んできており、「大幅削減」の主張は受け入れにくいとする見解もありました。そこで、私は、請願の要求趣旨は町田市の議員定数を「全国 No.1」の削減率を達成してほしいというものとして理解すると主張し、請願に賛成するべきだという見解を述べました。

既に調査した結果ですが、町田市議会は 2 名削減で同等人口都市の議会において同率首位の削減率、4 名削減で全国首位が達成できます。次の第 4 定例会(12 月議会)で、各党派の見解を持ち寄り、議論の詰めを行うこととなります。次の特別委員会は、12 月 17 日午前 10 時より開始予定です。議論内容は、直接傍聴するほか、インターネット中継でリアルタイムと録画放映をオンデマンド方式で見ることが出来ます。(全議員 36 名欠員 1 名)



町田市の人口とリニア新幹線開通

地元の武相新聞に掲載された、町田市経営診断協会の分析によると、町田市の人口が 2000 年から 2012 年で 12.7%増を記録したという反面、今後横ばいを続け、2015 年には減少に向かうと推測しています。もちろん、日本全体が大きく人口減少に向かっており、そのこと自体は自然的な方向と思われます。

しかし、これから 15 年後(2027 年)には、JR 東海が自前でリニア中央新幹線を開通させることで、現在の橋本駅に新駅を設置することに伴って、相模原・南多摩地域の近隣交通圏が大きく変貌することは必定です。八王子市には、八王子駅がこの橋本駅に JR 横浜線で 15 分圏内に入ることにより都市構造が変わると見る視点が生まれています。町田市側においてはもっと身近に感じてよいはずですが、それに期待を持って接しようと言う発想や将来推測はほとんど広がっていません。市政に都市拡大発展の発想が不足していることに合わせ、この開通自体に反対する主張もあることも背景にあるのでしょう。

私自身は、このリニア中央新幹線の開通の中に町田市の発展を見ていくべきだという見地を自身の主要な主張にしてきました。この観点は、私が所属する志政クラブの中心政策の一つになっています。これから、徐々に広がりを見せていくでしょう。あわせて、町田市政に置いては多摩都市モノレールの延伸に関する施策がようやく推進の立場に変更し始めました。これまでは後ろ向きだったものが変化することで、町田市の将来は都市規模が拡大し、人口 50 万人に達する道が開かれることでしょう。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E 103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



第 31 期・第 32 期
インターン生募集中

技術力の向上と民間支援

この間の週末は、各地の学園祭に出向いています。若い世代の文化・研究を見る目的です。その中で、小山ヶ丘にある私立サレジオ高専(5年制)の学園祭(育英祭)も見学しました。ちなみに、例年出向いており、顔馴染みの学生も多くあり、いつも歓迎してくれます。



電気や機械工学、あるいはデザイン等の多数の学科があり、ソーラーを用いる自動車や航空機のプロジェクトもあります。

その一つに、ソーラープレーンを見学しました。こちらの機体はほぼ完成しており、地上ですが、搭乗体験をさせて頂き、操縦桿を握りました。プレーンは1人乗りですが、大きなプロペラがついた本格的なものです。

なお、翼に埋め込むべきソーラーがそろっていませんでした。かなりの費用がかかるようで、外部のスポンサーを求めています。せっかくなので、私は操縦桿を握り、そのPR役を買って出ました。映像は、「吉田つとむ発見動画チャンネル」画像は「フェイスブック」に納め、情報発信しています。

インターン生募集について

私は、個人として現在までに議員インターン生として50人(男子、女子それぞれ25人)の大学生(院生)を受け入れました。ただし、その目的は学生の政治家を誕生させるために受け入れるのではなく、学生が卒業前に政治や議会を中心として幅広く社会体験を経験してもらいためであり、そのための研修プログラムを設定しています。

その趣旨が理解されて、1998年以來ほとんど絶え間なく、身近に学生が研修生として参加してきました。既に社会に出て就業している体験者が多数あります。就職(一般企業・官庁)、起業・発展途上国で支援の開発事業者も登場し、教師、司法試験合格者(本年中に弁護士登録見込み)も誕生し、頼もしい限りです。他方で今年の体験者(29期・30期生)の3年生はこれから就活にいる聞いています。



そこで、新たに31期生・32期生の募集を行っています。どうぞ、関心がある方は、<PDF吉田つとむインターンシップ募集要綱>をご覧下さい。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail : yoshidaben@gmail.com